

基本理念

インテリジェント・コスモス学術振興財団は、人間と自然、産業と生活文化が理想的に調和する未来型産業社会の形成を目標に掲げる「東北インテリジェント・コスモス構想」に呼応し、研究助成活動を通じ、創造性の高い学術研究の確立と総合化を未来志向的に意図し、地域社会の発展と人類世界の新たな秩序形成に寄与することを目的とします。

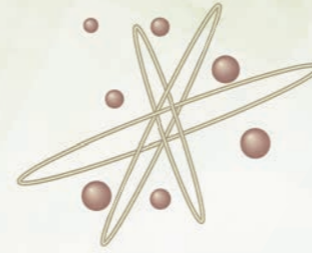
この目的を達成するため、東北に生まれる科学技術を推進し、東北文化の体系化とその発信を図ることにより、東北を、我が国の科学技術と未来文化における頭脳エリアと新産業・文化の発信の拠点にし、我が国の繁栄秩序の構想に寄与するものとして、主に次の研究助成活動等を通じ事業の推進を図ります。

- 1 自然科学研究に対する助成
- 2 国際的研究交流に対する助成
- 3 東北文化研究に対する助成

理事長挨拶



理事長 沢田 康次



就任以来5年の年月を迎えました。この間、コロナもやっと収束しましたが、国際情勢の不安定化、地球気象の異常化など我々を取り巻く環境の変化が進行しています。この時期に、本財団のパンフレットを改訂し、財団の目指す目的への意識をより明確にしたいと考えました。

現代社会が直面している課題の解決への貢献を目指す研究は、勿論、当財団の支援の対象です。たとえば、情報の高速伝播によるコミュニケーション技術の進歩が国際間の政治的問題の緩和に、脱炭素化を進める科学技術の進展が、気候変動などの改善に貢献することは明らかです。また、優れた学術研究は、最初から目的を定めなくとも、それ自身世界的な影響力をもつことから、同様に支援の対象であることは言うまでもありません。

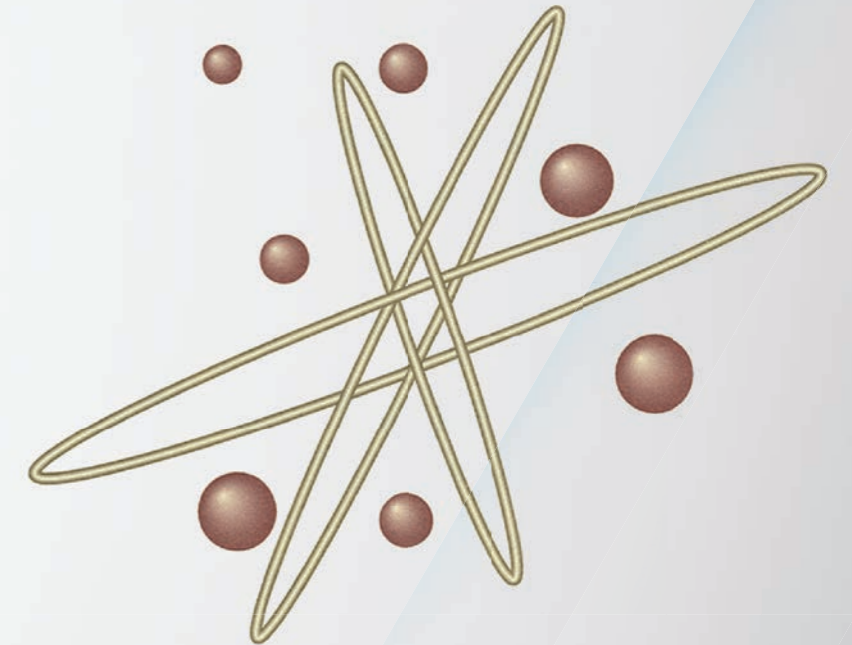
このような学術研究を支援する当財団は、その根底に「東北インテリジェント・コスモス構想」をベースとしています。この構想は、東北地方の歴史的な特徴とそれによって輩出した人物を見据え、自然科学の発展と東北地方のユニークな文化とがインテリジェントに結合するコスモスを目指し、新潟県を含む東北7県と産業界が結束して1996年に創設されました。上記の学術研究を支援し、わが国の他地域や世界に先んじて、その成果が東北地方から生まれることを目指すユニークな公益財団法人であります。

財団は、今後もその目的に向かって努力してまいりますので、何卒ご支援のほどよろしくお願いいたします。

公益財団法人

インテリジェント・コスモス 学術振興財団

Intelligent Cosmos Academic Foundation



コスモス構想を『学』の面から支援しています

インテリジェント・コスモスとは

インテリジェントは
新しい状況に対応して道を切り拓いていく知力
コスモスは

秩序があり調和のとれた状態

東北地方がその歴史の中で培ってきた知力を集結し
来るべき21世紀に向かって新たな調和を作り出す
それが、インテリジェント・コスモス

公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団
〒989-3204 宮城県仙台市青葉区南吉成 6-6-3
Tel : 022-303-3633
e-mail : incos@ic-net.or.jp
<http://www3.ic-net.or.jp/~incos/>

「東北インテリジェント・コスモス構想」と現代的課題

東北インテリジェント・コスモス構想

東北インテリジェント・コスモス構想は、東北地方全体が21世紀における日本の頭脳と産業開発の国際拠点となり、そこに未来型産業社会を形成することによって、人間と自然、産業と生活・文化が理想的に調和した地域社会をつくることを目標として、1987年に提唱されました。

国際社会そして日本の中での東北

いま、世界は大きな変革を迎えようとしています。21世紀は、社会、経済、文化などのあらゆる分野で世界が理解しあい協調的な発展が求められており、日本が果たすべき役割はますます大きくなりつつあります。特に、創造性の高い研究開発によって新しい産業分野を開拓し、研究・技術・産業・文化などの面で有益な情報を世界に発信していくことが重要な課題となっています。東北地方は歴史的にも、わが国独特の文化と研究成果に貢献した人材を輩出し、これからの国際社会での日本の役割について、重要な一翼を担うにふさわしい地域です。

現代的課題

現代社会は地政学的な変化と地球温暖化が作り出す問題に直面することになり、加えて、2011年には大地震と津波が東北地方を襲い、それによってもたらされた、壊滅的被害を被った沿岸部や原子炉の将来問題が残されています。発足当時の構想には含まれていなかったこれらの世界的な課題の解決を、被災地としての東北地方から発信することが望まれています。

それらの根源的課題の克服・解決には、豊かな想像力の飛翔と新たな知の創造と糾合を不可欠とし、学術研究の戦略的重要性は一層増大します。こうした人類史的挑戦に東北地方から応答する「東北インテリジェント・コスモス構想」の名の下、学がその責務を果たす方途として学術機構を1990年に発足させ、その活動の更なる飛躍を図るため、「インテリジェント・コスモス学術振興財団」は、広く産学官各界の強い支援によって、文部省所管の研究助成財団として1996年3月に設立されました。

事業の概要

インテリジェント・コスモス学術振興財団は、その基盤を東北インテリジェント・コスモス構想におき、東北を我が国の新しい科学技術と未来文化のための発信の拠点として、我が国の繁栄秩序の構想に寄与するという基本理念に則り、各種助成事業を展開しています。

インテリジェント・コスモス奨励賞

科学技術分野において優れた研究テーマを持つ将来有望な若手研究者、及び東北の産業支援に貢献する優れた研究技術の開発を行った研究者またはグループに対し、インテリジェント・コスモス奨励賞を授与し助成を行っています。

インテリジェント・コスモス奨励賞は、それまで行われていた「シーズ熟成研究への助成」を発展させ、2002年に制定されました。

また、2019年には対象研究2)を新設し、東北の産業支援に貢献する優れた研究技術の開発に対する助成を行っています。

対象研究1) 萌芽的な段階にある優れた独創的自然科学研究及び自然科学と人文・社会科学の融合領域の研究
対象研究2) 東北の産業支援に貢献する優れた研究・技術の開発

実用化研究への助成

東北地域における新産業創出の推進を図るため、奨励賞受賞者の研究実績報告書に基づき、実用化・事業化の観点から評価・調査を行い、可能性を持った研究課題については、さらに発展させるため、奨励賞受賞の翌年に継続して研究費を助成しています。

実用化研究への助成は、奨励賞の制定と合わせて2002年から行っています。

インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞

東北が生み出した文化の独自性と先見性を発見または体系化して、内外に発信する優れた研究・活動の実績に対し、インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞を授与し助成を行っています。

インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞は、2019年に制定されました。

国際学会への助成

国際的研究交流を東北地域全体において促進し、科学技術の発展と独創的学問の進歩向上に寄与するため、東北・新潟地域において開催される国際学会等に対し助成を行っています。

国際学会への助成は1996年の財団設立時から行っています。

財源

財団の運営資金は、つぎの財源から成ります。

- 民間企業及び地方自治体からの出捐による基本財産の運用益
- 賛助会費

沿革

- 1987年 1月 東北インテリジェント・コスモス構想の提唱
2月 東北インテリジェント・コスモス大学連合協力機構の発足
- 1990年 2月 東北インテリジェント・コスモス学術機構設立
- 1996年 3月 財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団の設立
- 2013年 4月 公益財団法人へ移行